



2020-21 年度 会 長 片岡博也  
副 会 長 山門弘毅  
幹 事 齋藤友紀  
会報委員 庄司 幸

本日のプログラム 第 2278 回例会 令和 3 年 1 月 1 日

行 事：初日の出例会

第 2277 回例会 令和 2 年 12 月 17 日の記録

会長の時間 片岡博也 会長



みなさんこんばんは。  
本日は一般社団法人未来の大人応援プロジェクトより、国土交通省中部地方整備局紀勢国道事務所熊野維持出張所長の阪井宣行様にお越しいただいております。阪井様後程よろしくお願いたします。時がたつのは早いもので今年も残すところあと二週間となり今年最後の例会となりました。昨年の今頃は今年度の役員人事を決めたり、どの様な奉仕活動ができるかなど7月から始まる会長年度に向けていろいろと準備をしていたように思います。



ところが、新型コロナウイルスの出現により予定していた多くの事柄が中止となり、なかなか思うような活動ができておりません。そんな中でもこのように感染予防対策を取りながら例会は開催でき、みなさんの元気な姿を拝見できることはうれしく思っております。二週間後に迎える新年は例年になく静かなお正月になるかもしれませんが、一日でも早く新型コロナウイルスが終息すること、みなさんにとってよりよい一年となります事、活発なロータリー活動が再開できますようにと祈念しつつ今年最後の会長の時間とさせていただきます。

幹事報告 齋藤友紀 幹事

- ▼津、松阪東、名張、津北、上野ロータリークラブより例会変更のお知らせが届いております。
- ▼ガバナーエレクト事務所より 2021-2022 年度クラブ会長・幹事、クラブ研修リーダー氏名確認のお願いが届いております。
- ▼松阪山桜ロータリークラブより創立 25 周年記念誌を載いております。
- ▼ハイライトよねやまが届いております。
- ▼松阪ロータリークラブより来期のガバナー補佐訪問のスケジュール調整のお願いが届いております。
- ▼新宮ロータリークラブより週報を載いております。

外来卓話 一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 阪井宣行様



### 1. 高校生レストランと岸川政之氏の紹介

多気町にある高校生レストラン「まごの店」はご存知でしょうか？ここは相可高校の食物調理科の高校生が、材料の仕入れ、料理の提供、接客をこなす、

高校生が運営するレストラン。本日はこのレストランのできた経緯とその仕掛人である岸川氏の紹介、地域の将来を支える未来の大人である高校生と地域のかかわりを紹介。高校生レストランは当時多気町役場の職員であった岸川氏と相可高校の高校生との出会いから

始まりました。多気町役場で農業の振興を担当していた岸川氏が相可高校の食物調理科にイベントでの屋台出店を依頼したことがきっかけ。「うどんを湯がいて子供たちが出してくれればいい」程度に思っていた岸川氏は試食料理の美味しさに驚き、この子たちにもっと輝ける場所を作りたいと思った。“県立”高校と“町”というしきいのため、校門さえくぐったことがなかった。ふるさと村でも“子供をはたらかせていいのか”という話もあったが、全身全霊で料理に打ち込む高校生に心を打たれて、ふるさと村の村長さんからちゃんとしたレストランを作ってほしいと要望され、今に至る。今では様々な企業とコラボした企画が多気町はじめ全国に展開。伊勢志摩サミットでは配偶者プログラムでランチの提供。多気町のHPの帯にもなっている。まちに“ただいだけの高校生”が今はまちの“たからもの”になっている。高校生は“こども”ではなく“未来の大人”知識と経験が少ないだけ。本気で向き合えば、全身全霊で応えてくれる。この経験から岸川氏は高校生（未来の大人）応援する法人を立ち上げます。

## 2. 「未来の大人応援プロジェクト」の活動

未来の大人を応援することに当たり、SBP ということについて紹介します。SBP はご存知ですか？スライドにて紹介します。高校生レストランはこの手法です。レストランで料理を提供して収入を得て、それで食材を仕入れたり、電気代などの固定費を払います。ただし、高校生の人件費はありません。高校生と

周辺の大人たちとのコラボで成り立っています。高浜の事例について、愛知県高浜市ではトヨタ自動車のボディを作る会社と三州瓦の鬼師が高浜高校を応援。たい焼き型の制作でコラボ。今では全国10を超える学校や団体にSの絆焼き型として販売。プロバスケットボールチーム「シーホース三河」から焼き型の制作を依頼されるが、販売金額で折り合わず保留に。そこで、高浜高生が焼き型は自分たちで作るので、それで作ったタツヲ焼きをシーホース三河の試合で販売、さらに売り上げで高浜の子供たちを試合に招待するという提案。これに感動したシーホースの選手が三河地域の小中学校でバスケットボール教室をすることに展開。浜松学芸は自分たちが通学に使う天竜浜名湖鉄道を勝手に応援団として、誌的な写真とコピーでインスタに投稿。今年は松阪の飯南高校とコラボし、勝手に名松線応援団を展開。いずれも地域にもともとあるものを高校生の手によって表現を変えて展開したもの。全国高校生交流フェアではこのような取り組みの紹介や高校世同士の交流の場として機能。

## 3. 紀南高校の取り組み

そしてここ東紀州でも紀南高校が活動を始めている。道の駅「パーク七里御浜」での空き店舗活用につづき、道の駅「ウミガメ公園」でプロジェクションマッピングを実施予定。高校生という未来の大人と、地域の深いかわり、高校生同士の広いつながりを今後も一緒に応援していただきたい。

## ニコニコ BOX

会長・幹事…本年はたくさんのお出席ありがとうございました。阪井さん楽しいお話しありがとうございました。

前田 衣代…入会以来初の無届欠席申し訳ありません。来年の成人式の打ち合わせが長引き、結果帰省されなくなり、来年5月連休休み、成人の皆様も安心して望める式になって欲しかったのに残念です。

森本 衛…阪井様卓話ありがとうございました。

川原 直美…阪井様、卓話ありがとうございました。片岡会長年度も半分終わりました。あと半年出席よろしく願います。

野地俊行、山門弘毅、糸川佳男、井上登、赤阪俊一、森本健一、清水康仁、大崎順敬…ビール阪井さんありがとうございました。

### 出席報告

井上 登 出席委員長

会員数 32 名

出席数 24 名

欠席数 8 名

出席率 75%

### 次回第 2279 回例会

1月14日：賀詞例会 諸事御祝 理事会

